

最近歐洲ダンス界に表れた一傾向

三 浦 ひ ろ

文は己を読むものだと言ひます。

或人が十代の時に徒然草を読んだ。二十代の時に再び読みなほして非常に興味を覺えたので、三十代に読み四十代に読み更に五十代になつて讀んで見た。しかし何時讀んで見ても新しい味が出て深々として興が盡さないものがあるやうだ。しかも五十代にして讀んで始めて徒然草の眞意にふれた様な感じがする。と言つてゐました。六十代になつて又讀みかへした時にこんどは如何に感ずるかが楽しみだとも話してゐました。

人に例をとらなくても私自身にもかうした経験はいくつもあります。

浦島太郎の話を讀みました、尋常一年の時、六年の時女學校の上級になつてから、それから本校の四年の時。はじめは浦島太郎の實在を全く承認して居ました。鯛もひらめも鯖も皆人間化して何のふしぎもありませんでした。乙姫様だつて海底に居ると思つてゐたのですから。たゞ一つふしぎだつたのは海にいつたのになぜ浦島の着物がぬれなかつたかと云ふ事でした。

六年の時はお島の實在などを考へてはゐませんでしたが。お話だとして考へて居たのでせう。しかしなぜ浦島は玉手箱を開けたのだらう。開けなければよかつたにとしきりに浦島の爲に悔いて

ゐるやうな心はあつたやうです。

女學校時代にはもうこの物語は一つの假説物語だと知つて居ました。しかも最後の浦島の行爲については或教訓的の意味を含めたものとして解釋して居ました。最後に讀んだ頃は文學史などでそれ／＼専門的に習つた後でもあつた故でせうか浦島を一つの人間の姿として見て居ました。そうして言ひ様のない寂しさに捕へられて居ました。

結局文は自己を讀む以外の何物でもない様です。自己が作者と全く同一立場に立つた時に眞に意のある所が體驗せられるのでありませう。

私は殆どこれと同様の場合をダンスの時にもあてはめて見たいと思ひます。なぜなら踊りと言ふものは自己表現の一形式であつてこの點に於いて文學と大差ある筈のものでないと思ひますから。

文は己を讀むといふ言葉は決して文のみに適用される言葉ではなくてすべての事に共通のもので

あります。即ち他を十分に解釋出来るといふのは自分にそれだけの能力を有して居るからの事であつて、我々が己の力より以上の大仕事をする事は極めて困難な事なのであります。かういふわけで私は今現在日本に行はれて居る唱歌遊戯或は表情遊戯といふものに對して一つ批評を試みたいと思つたのですが、具さに自らの力を考へて居る中に心細くなりました。そこで最も賢い方法を考へ出して見ました。即ち最近歐洲のダンスの世に表れた新思想の一端を述べて我々のもつてゐる現在のダンスといふものゝ反省の料に供したいといふ事でありませう。

抑も過去二三十年程の間に於いて、ダンスの藝術の上に恰もアメリカと同じ様に一つの新しい運動が主としてヨーロッパのチウトン民族（ドイツ・オーストリア、オランダ、スカンデナヴィア）間に起り次第に其の生長を續けて來たのであります。

これが従來の古典的バレエに與へた影響もかなりに大きいものでありました。

一體古典的バレエは其の發生を、ルネサンス時代の宮廷に於ける華麗壯大な宴會時に行はれた舞踏に求める事が出來ると云はれてゐます。そして夫れが次第に變化と修養とを経て今日に於けるロシアバレエの全盛期に辿り着いたのであります。

丁度このダンスの世界に新しい思想の流れた頃、ロシアの帝國舞踏學校には畫家、意匠家としてのバクスト、振付者としてのフォーキン、音樂家としてのストラヴキンスキー、舞踊手としてのニジンスキー、モルドキン、バツロフ、カルサヴキーナ等は其の代表的な人々で、これ等の人々は従來のバレエの因襲からはなれて、古典的バレエに生命を與へたいといふ希求に既に燃えて居たのであります。ですから勿論古典的バレエに於いてもすでに――革命の氣運の動いて居たのは當然の事な

のであります。これを決行に至らしめた直接の原動力はイザドラダンカンにあるのであります。

ギリシヤ式のダンス（イザトラ・ダンカン）

今からざつと二十年程前にイザトラ・ダンカンと呼ぶオランダの婦人がダンス界に新しい一つの思想と運動の形とを發表しました。彼の女は主としてギリシヤ古代の浮彫を研究した人でありました。

そして夫れの深い憧憬者でもあつたのです。其の結果として彼の女は生きた命をその浮彫の自然の姿を通して運動に流して見たいと思つたのです。そしてなほ波濤とか雲、水、裸體等自然の様式の中に表れた美を求める事を怠りませんでした。そして自然にかへれと常に叫んで居たのであります。ところがこのダンカンの考へは従來のダンスの形式では到底其の目的を貫徹させる事は困

難でありました。そこで勢新しい何等かの方法様式を作り出さねばならなかつたのです。これがダンカンが彼の女のダンスの型を作り出した第一歩だつたのです。

バレエの一種特別な姿勢から来る型にはまつた緊張さから身體を救ひ出して之を自然になだらかな運動にうつし、同時にきちんと體にくひ付いた程に見える衣服はぬがせられ、靴やコルセットのやうなものもとり外されました。そして燃ゆるやうな衣服の中に包まれた體はステージの上は何の束縛もなく立つやうになりました。この半ば裸體に近いやうな姿は其の最初に於いては見物人にとつて奇異な感じを起させたに違ひありませんでした。殆ど厭惡の情を以つて迎へられた事さへありました。勿論後には非常な賞讃の辭を以つて迎へられるやうになりましたけれど、とにかくダンス界に於いては大きい革命だつたのでせう。彼の女

の露都訪問は時恰もダンスの上に一革命の起らうとして居た時だつたものですから非常なセンセーションをロシアバレエの上にもひき起しました。

ダルクローズ・メリツド（ユリスミツク）

ダルクローズ氏の創案にかゝる方法です。ダルクローズ氏はダンカンの次に表れた一人者であります。氏はダンカンが歩いたと同じラインの上立つた人だつたのです。しかしより遙か高い程度に於いて同じ流を汲んだ人だつたのでせう。氏の思想の根底をなしたものは人間のリズムといふものでした。

氏はドイツに於いて最も多くの門弟を有し又サクソニーに音楽とユリスミツクの學校を設立する事が出来ました。そして其の幾分か完成されたところの方法は世の教育連によつて多大の賞讃と激励を受けるとなつて参りました。

さてこのダルクローズ氏の根本思想となつて居

りますものは人間のリズムを如何にして教育するかといふ點に立つて居ります。そして氏は人間身體の運動はすべて魂のリズムの表れでなければならぬといふ假定のもとに、身體の正しい訓練は魂のリズムを教育し得るといふ考へをうち樹て、深い信念の下に身體のリズムミカル軍動を教育して居ります。はじめは單に音樂の教授の爲に案出された身體運動であつたのですが研究の結果、音樂のみに効果ある許りでなく人間教育全般に涉つて有効なものであるといふ事が認められるやうになつたのであります。リズムと深い關係のあるダンスについては非常な効果をもたらしたのは云ふ迄もありません。そして今迄音樂によつて支配され東轉され制限されて居た運動は獨立する事になりましてかへつて音樂伴奏物は踊手の内部に創造せられたところの自然のリズムを強め且つ鮮にする爲に用ひられるやうになつて踊手はもはや音樂を強

いて演出しやうとする必要はなくなつてしまつたのであります。

このダルクローズ氏の流れを汲んで更にダンスの方面に研究を進めた人にラーバー、メリーウキグマン等があります。これ等の人のダンスには從來の技巧をはなれた自然な自由さが多量に表れて居ります。この様に洋の西にはそして其のダンスの世界には自然へかへれといふ大きい叫びがあります。事々しい技巧をはなれたいといふ希求があります。そして純真な人間の自然性をその純なまゝに育て、ゆき度いと願つて居るのではないでせうか。そして人間の持つてゐる自然のリズムを又自然のままに美しく練り上げてゆき度いと希んでゐるのではないでせうか。

ダンスは一つの藝術であります。ですから技巧もなければならぬと思ひますが、あまりにとらはれた技巧に走ることはダンスを（五十九頁ニツク）